

ほほえみ新聞

THE Yasuragi

http://m-yasuragi.com

ホームページもご覧下さい

2018年9月発行(第59号)

編集:やすらぎの園 広報部

E-Mail: nagano@m-yasuragi.com

所在地: 〒388-8019

長野市篠ノ井杵淵 213-4

TEL026-293-2600 Fax026-293-2959

地震体験研修

震度6強、7の揺れを実際に体験



長野県の地震体験車。1年かけて県内を地区ごとに巡回しています。

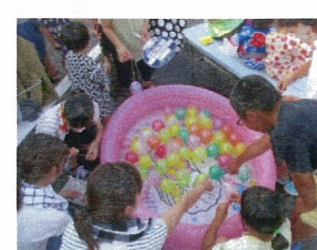
七月二十三日、施設正面玄関前駐車場にて地震体験車による地震体験研修が行われました。平成二十三年三月十一日の東日本大震災以来、日本各地で震度六、七クラスの地震が頻発しており、長野市内でも体感する地震や一瞬ヒヤリとするような地震が最近増えてきたように感じます。大地震発生が現実味を帯び、地震に対する備えの重要性が以前にも増して強調される中、今回初めて長野県の地震体験車をお借りしての「地震体験研修」となりました。

今回の地震体験車による地震体験研修をご指導いただいたのは篠ノ井消防署の皆様。当日は六十七名の職員が参加し、四名ずつ交代で体験車に乗り込み震災級の揺れを実際に体験しました。この日体験したのは、一九八四年(昭和五十九年)に発生した長野県西部地震(木曾郡王滝村)の震度六強及び今後発生が想定されている糸魚川静岡構造線地震の震度七。いずれの揺れもイスに腰掛けた姿勢を保つのが精一杯で、特に震度六強と震度七とでは体感する揺れの差はかなり大きく、震度七を体験した職員からは「建物が倒壊しない方が不思議なくらい」との感想も聞かれました。社会福祉施設としての震災時への心構えの一つとして、篠ノ井消防署の大日方様より「地域住民が施設に避難してくる可能性もあるため、その時に何ができるか考えてほしい。」とお話があり、災害備蓄を含めた「防災」という視点からも地域福祉の向上に努めなければならぬ責務を改めて感じました。

2018 やすらぎの園夏祭り むつみ祭

8月1日、第8回やすらぎの園夏祭り「むつみ祭」が開催されました。

連日最高気温が35度を超える猛暑日が続き、当日も厳しい暑さの中での開催となりましたが、ご入居者、ご家族、地域住民の多くの皆様にご参加いただき、昨年以上の盛り上がりを見せ、大盛況の内にプログラムを終えることができました。ご来場ありがとうございました。



40周年

開所記念交流会

～スポーツ交流会を開催～



6月1日、40年前のこの日やすらぎの園が開設したのを記念して開所40周年記念交流会が、むつみホールで開催されました。今回は各館(東・西・南館)対抗のスポーツ交流を行い、玉入れ、風船回し、パン喰い競争の3種目で合計点を競いました。「…40、41、42…」、玉入れでは、競技終了後にカゴに入った玉の数をみんなで数え、初めに玉がなくなるのはどの館かとドキドキしながらカウントし、大きな歓声が上がりました。風船回しでは、早く回そうとして風船が手につかず慌ててしまう方もいて、笑顔の中にも真剣な表情が窺えました。最後はパン喰い競争。口ではなかなかパンがとれず、こっそり手を使う方もいて笑いが起こっていました。それぞれの競技には、助っ人として託児所の園児たちも加わり、かわいらしい姿に思わず笑顔がこぼれました。全競技を終え、最終結果は西館が総合優勝。代表者が記念トロフィーの表彰を受け、高々と掲げました。館対抗で競技を行うのは久しぶりで、会場内は大きな声援と笑い熱気に包まれて大変愉快で楽しい時間を過ごすことができました。

やすらぎフォトギャラリー

当施設のさまざまな取り組みを皆様に写真でお届けします。



託児所・春の遠足(5月)



夕涼みコンサート(7月)



篠ノ井東小交流会(7月)

編集後記

皆さんは普段の生活の中で、手の「小指」について、考えた(意識した)ことはありますか。私は特にありませんでした。小指の役割を考えてみても、こそばゆい時に耳の穴をこそこそする…その程度しか思いあたりません。しかしこの頃、小指の機能から生命進化の素晴らしさと世の中の有り様を考えさせられる出来事が起こりました(大げさです)。先日、車で荷物の出し入れをしていた時、「グキッ」右手の小指を突き指してしまいました。「痛て…」、痛みがあり少々腫れてきたのですが、まあ、小指だし別に大したことはないだろうとその程度しか思いませんでした。しかし、いざ生活してみると不便がいっぱい。何かを持つとうしても力が入らず、重いものなどは手から落ちそうになってしまったり。歯を磨く時も、パソコンで入力する時も…。小指が他の指たちと協働して何気ない日常の動作を支えていたことを感じ、あまり重要視していなかった小指に申し訳ない思いと、何だか愛おしい思いが湧いてきました。私もそうですが、とかく世の中は目に見える活躍や効果でそのものの価値を判断してしまう傾向があるように思います。今回の小指のように普段はほとんど意識されないようなものであっても、実は大きな役割を負っている。その機能があっても、また、他と協働し合っていないと一つの役割を果たしているものがたくさんあるのではないのでしょうか。この世の中に人知れずひっそりと存在しているもの、それが実は最も大きな力を秘めているものかもしれないね。

ヨシタカ

※紙面上の入居者様の写真は、ご本人及びご家族の了承を得て掲載しています。

2017(H29)年度 社会福祉法人睦会 決算報告書

須坂やすらぎの園を含んだ法人全体の決算書です。

事業活動計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動収益計①	2,405,900	2,345,087	60,813
サービス活動費用計②	2,374,172	2,361,985	12,187
サービス活動増減差額③=①-②	31,728	△ 16,898	48,626
サービス活動外収益計④	11,812	5,856	5,956
サービス活動外費用計⑤	21,965	22,947	△ 982
サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	△ 10,152	△ 17,091	6,938
経常増減差額⑦=③+⑥	21,576	△ 33,989	55,564
特別収益計⑧	17,251	14,790	2,461
特別費用計⑨	6,895	22,659	△ 15,764
特別増減差額⑩=⑧-⑨	10,356	△ 7,869	18,225
当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	31,932	△ 41,858	73,789
前期繰越活動増減差額⑫	2,427,068	2,486,957	△ 59,889
当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	2,459,000	2,445,099	13,900
基本金取崩額⑭	0	0	0
その他の積立金取崩額⑮	73,873	134,118	△ 60,245
その他の積立金積立額⑯	133,273	152,149	△ 18,876
次期繰越活動増減差額⑰=⑬+⑭+⑮-⑯	2,399,600	2,427,068	△ 27,469

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部			
	当年度末	前年度末			
流動資産	1,011,642	1,005,504	流動負債	197,015	168,623
固定資産	5,092,262	5,179,115	固定負債	1,273,512	1,358,088
基本財産	3,743,118	3,642,969	負債の部合計	1,470,527	1,526,711
その他の固定資産	1,349,144	1,536,146	純資産の部		
			基本金	405,079	405,079
			国庫補助金等特別積立金	909,315	965,778
			その他の積立金	919,383	859,983
			次期繰越活動増減差額	2,399,600	2,427,068
			純資産の部合計	4,633,377	4,657,908
資産の部合計	6,103,904	6,184,619	負債及び純資産の部合計	6,103,904	6,184,619

施設開所四十周年

記念誌発行へ

記念誌編集委員会が中心に準備

当施設は昭和五十三年、長野市初の特別養護老人ホームとして開所し、お蔭をもちまして今年で四十周年の節目を迎えることができました。その記念事業の一環として、この度「やすらぎの園開所四十周年記念誌」を発行することとなりました。内容としては、やすらぎの園の四十年間の歩みと共に、施設の「今の姿」を残したいと考え、これまでの施設運営にご協力、ご尽力いただいた関係者の皆様と合わせ、やすらぎの園(長野拠点)の全職員に「やすらぎの園に働いて今思うこと」をテーマとして寄稿を依頼しました。発行に向けては記念誌編集委員会(委員長:新村副統括施設長)が中心となって準備を進めており、本年十二月一日の発行予定です。やすらぎの園の四十年目の「今」を、未来に伝えることができるような、そんな記念誌が完成することを目指します。



日帰り職員旅行

好きなプランで旅行を満喫

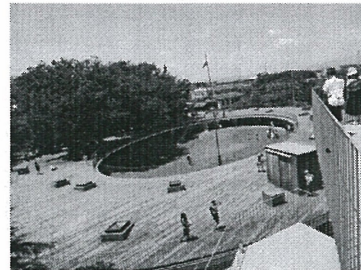


やすらぎの園 職員旅行
今年度は五つのコースが用意され、各職員が希望のプランを選んで、勤務調整をして交替で旅行を楽しんでいます。六月二十九日、筆者も新潟・月岡温泉のプランに参加しました。貸切バスのプランであったため、早朝バスに乗り込むなり「乾杯」となりました。バスに揺られ約三時間、変わりゆく車窓の景色を眺めながら朝からお酒をいただくという非日常に大変贅沢な時間を過ごさせていただきました。到着した月岡温泉のホテルも大変豪華で、温泉のお湯は「美人の湯」と言われるだけあって肌にもわりつくり、山の幸を新潟の地酒と一緒にいただきました。また、普段なかなか話す機会が少ない他部署の職員とも話が弾み大変楽しく、有意義な旅行となりました。



保育施設視察研修報告

東京・ふじようちえんを視察



7/14、当施設託児所の管理者、保育士が、独自の教育(保育)理念のもと保育事業を展開している ふじようちえん(学校法人 みんなのひろば ふじようちえん 東京・立川市)の見学会に参加しました。

ふじようちえんは一部報道などでも取り上げられることもあり、この日の見学会にも200~300人ほどの保育、建築関係者等が参加しており、中国からの視察団も見られました。



園舎は楕円形。園庭を囲む形で、保育室が配置されています。園舎の屋根はデッキ状になっており、子どもたちが走り回ったり、下階から屋根を貫く巨木が木陰をつくり、心地良い空間となっています。巨木と屋根の隙間はネットが張られていて、子どもたちの遊び場となっています。「園舎は子どもが育つための道具」との考えに基づき、このような独創的な造りになっているとのことでした。また、加藤積一園長先生の「保育者は「やり方」を教えるよりも「何が好きか」を重視すべきだ」、「「幸せな未来をつくる人」を育てるのが教員(保育者)の仕事」、「子どもの頃に「子どもをしっかりとやる」ことで「しっかりした大人」になる」…、これらの言葉に大変感銘を受けました。今回の視察研修で得た知識、情報を今後のより良い保育事業運営に活かしていきたいと思っております。

第三者委員

当施設では、社会福祉法人睦会「苦情解決の仕組みに関する要綱」に基づき、皆さまから頂いた苦情を真摯に受け止め、円滑で円満な解決に向かうよう努めてまいります。

そこで、苦情を密室化しないため、第三者委員を設置して苦情解決に社会性や客観性を確保し、ご入居者及びご利用者様の立場や特性に配慮した対応ができるような仕組みを設けています。現在、第三者委員は、元地域区長会長の丸山徳員(まゐるやま・のりかず)氏、当施設にてボランティアとして活動されていた曾根川真佐子(そねがわ・まさこ)氏に委嘱しています。ご入居者及びご利用者様とご家族ほか、多くの皆さまに周知いただき、些細なことでもお気づきの点がありましたら、遠慮なくお申し出ください。